

清華トハ、華族之公達ノ通稱候大臣拜任之人者、清華勿論候然處不經大將家候、雖然清華一列、不及異議候、

閑院ノ三家三條、西園寺、德大寺、久我、花山、大炊御門、

以上是ヲ稱三家、閑院ノ三家ハ又別也、

洞院斷絶也、庶流菊亭、今現在候、

此外皇子王孫、賜姓昇進候人々、此等ヲ清華ト申候、

〔光臺一覽〕二花族の公達とは、清華九家、閑院とて、大臣家三家の衆を云なり、

〔書言字考節用集十〕十七清華久我、花山院、德大寺、西園寺、大炊御門、轉法輪、菊亭、

〔故實拾要十一〕清華

源久我、相國八代有之贈相國一代、藤花山院相國三代有之、同西園寺相國六代有之、同德大寺相國

五代有之但此家代々不詣聖廟、依爲時平公流家僕等、同大炊御門相國二代有之、同轉法輪相國五

代有之、同今出川相國無之、

右七流ヲ號清華家、又華族ノ公達ト稱ス、○中略

源廣幡此家廣幡親王ノ子孫也、准清花、新家昇進不定也、

〔光臺一覽〕三清華と申は、轉法輪、三條、菊亭、大炊御門、花山院、德大寺、西園寺、醍醐、久我、廣幡、九軒なり、

此中三條、菊亭、大炊御門、三家は格高し、花山院、德大寺、西園寺、醍醐は中なり、此七軒は藤原なり、久

我、廣幡は格ひきし、親王家の落の庶子にて源姓なり、○中略攝家の内にこそ凡人なれ、清花も花族

の公達と稱せられて、いや高き御家也、玄かし今日にても、親王家男子方多くて、大納言を申、大將

をかねて大臣にいたる人は、皆清華と申もの也、それ故何時増申べきも、清花は玄れ不申候、

〔唐六典二吏部〕凡京司有常參官○中略